

市長メッセージ(米軍関係コロナ対策等の現状について)

今回は、米軍基地関連の新型コロナウイルス陽性確認者を巡る対策等の状況のご報告と、夏の海水浴の開設期間も先ごろ一部会場を除き終えたところで、この機会に、引き続き、生活上の注意喚起のお願いを改めてさせていただきたいと思っております。

まず、現在まで15名にのぼる多数の感染が確認された米軍基地関連の感染拡大防止対策とその徹底のため、この間、市議会、京都府とも連携して、防衛省、米軍に対して万全な対策を求めてきたところですが、現在までの対応状況等についてご報告をいたします。

まず、

一つ、本市として強く求めてきた、米軍、軍属、日本側従業員、濃厚接触者については、本日21日までに、軍属のごく数人を除き、全員、PCR検査を行っていただいたところで、結果、これまで陽性確認されている15名以外はすべて陰性だったこと。

一つ、住民不安を払拭するため、京都府丹後保健所が中心となり、基地勤務の日本側従業員、敷地内の工事関係者、出入りされている方など、一定幅を広げた範囲で合わせて73名、検査を実施いただいたこと。その結果、すべて陰性だったこと。

一つ、陽性確認者及び濃厚接触者について、14日以上隔離措置及びその後2回の検査により陰性が確認されない限り隔離を解除しないなどの通常以上の厳格な措置、外出時のマスクの徹底など密集場所への訪問禁止など必要な生活様式の徹底

など、京都府と共に、防衛省、米軍よりご報告をいただいたところです。本市として、今後とも、感染拡大防止のための万全な対応を、引き続き、強く要請すると共に、京都府、防衛省、米軍など関係機関と一緒に、緊張感をもって必要な対応にしっかりと努めてまいります。

さて、暑い時期がまだまだ続いておりますが、ご体調管理、ご負担もおありかと思っております、いかがお過ごしでしょうか。そんな中、先日、16日をもって市内の各海水浴場も一部を除き閉鎖をされ、お盆とともに海水浴の時期もほぼ経過をしたところです。

この間、各地から多くの方々がお越しくださり、海水浴などで混雑状況や

一部マナーの不徹底など市民の皆さんにもご不安をおかけするケースもあったと思います。その点、率直に申し訳なく思いますし、マナーやルールの不徹底など、今後ぜひ反省と改善の材料にしていきたいと思います。

一方で、米軍関係の感染ルートを除けば、現時点までに、市内からの陽性確認者は報告をされておられません。もちろん、まだまだ予断を許さない時期が続きますが、これは、これまで、市民の皆さんが、ご自分とご家族、そして仲間や地域を守るために、感染予防のための対策をしっかりとってくださっている、ゆえとお蔭かと、心より誇らしさと感謝を申し上げます。

引き続き、これから秋の観光シーズンなどを迎えるうえでも、この経験を活かしつつ、私たちとして大切なことは、どんな時期、どんな場合であっても、感染予防の重要性を常に自覚し行動する、感染予防を引き続き自ら普段の生活の中でしっかり徹底することです。

① 社会的距離(できるだけ2m(最低1m))の確保、②マスクの着用、③こまめな手洗い、そして、3密(密集、密接、密着)の回避、です。

さらには、飲食時の大声を控えるなどの予防エチケット、行動にあたっての体調の判断、そして、とりわけ、高齢者や基礎疾患のある方への一層厳格な配慮は、徹底的に行っていただきたい、と思います。

そして最後に、心を込めて繰り返しお伝えいたしたいと思います。
というのも、このような状況にあって、もしこの先も含め、市内の方の感染がさらに確認されても、感染者の方またそのご家族、関係者を巡り、人権侵害になるようなこと、例えば、誹謗、中傷などは、決して、決して私たちとして行わない、ということです！

むしろ、感染者の健康回復をご一緒に応援していただき、行政としてもこれを全力で支援してまいります。

いずれにしても、今大切なことはなにより、感染予防の徹底です。市民全体で感染予防対策に取り組み、一丸となってこの難局を乗り越えましょう！

令和2年8月21日

中山 泰